

令和3年度 第2学期始業式 校長講話

皆さん、おはようございます。まず、皆さんにお知らせですが、地域農業科の〇〇先生と英語の〇〇先生が産休に入られました。代替りの先生につきましては、着任の時に紹介したいと思いますので、しばらくお待ちください。

それでは本題に入ります。

今年の夏休みは、7月22日から昨日までの35日間でした。どのような夏休みだったでしょうか。1年延期された東京オリンピックも終わり、24日にはパラリンピックが始まりました。オリンピックには、宮崎県に縁のある選手が13名と監督1名が出場し、金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個という成績で、日本の成績に貢献しました。また、パラリンピックにも本県に関連のある選手が2名参加しますので、活躍を楽しみにしている人もいるかと思います。

本校の部活動も、全国高校総体で男子バレーボール部が初出場ながらベスト8入りし、学校や地域を沸かせてくれました。また、ヨット部の請関さんは天候に恵まれない中のレースでしたが、本県の代表として大いに頑張ってくれました。この経験を残りの高校生活や卒業後に生かして欲しいと思います。

さて、ご存じのとおり、日本は新型コロナウイルス感染の第5波の中にあります。若い人は感染しにくい、あるいは感染しても症状が出にくいと言われていた新型コロナウイルスですが、デルタ株の出現により、状況が全く変わりました。感染症を専門にされている愛泉会日南病院の峰松先生は、デルタ株について全く違う種類のウイルスだと仰っています。この新たなウイルスの出現により、日本で心配されていることは学校での感染拡大です。特に高校生は通学範囲が広いことや、部活動等での他校・他県との交流による感染リスクが高いと言われていています。

そのため今月中旬頃から、県外で開催される上位大会が中止になったり、中止の検討がなされたりしています。関係する高校生の皆さんは、これまで努力してきた成果を発揮する場がなくなり、とても残念だと思います。

しかし、10月の振徳祭・体育の部、11月の振徳祭・文化の部につきましては、感染対策を徹底しながら実施する予定です。そこで生徒の皆さんにお願いしたいのは、日常の感染対策について、先生方の指導をしっかりと守ってほしいということです。

今学期より新たな取組として、ホームページやメールで連絡のあったフローチャートで登校が可能かどうかの確認をお願いしています。このフローチャートでは、症状があれば当然登校不可になりますが、感染していても無症状の場合、登校可能の判断になることがあります。

つまり、マスク着用、手指消毒、教室の換気、昼食時の会話自粛等の基本的な感染対策は体調に問題がない人でも絶対に必要ということです。こうした感染対策を怠り、集団感染が発生した場合は、校長として学校行事の中止や各種大会について辞退することを考えなくてはなりません。

まだまだ暑い日が続きます。マスクをしたままでの学校生活や登下校は本当に不快ですが、皆、我慢しています。もしも、校内でマスクをせずに行動する人がいた時、先生に注意を受けてマスクをするのではなく、生徒同士がお互い注意し合うような学校であって欲しいと願っています。

誰も通らない田舎道を一人で歩いている時にマスクをしろとは言いません。しかし、町中で行動する時はマスクは必要です。これは地域の皆さんの学校に対する信頼にも関わることです。人が集まる駅等の施設でマスクを外して大声で会話している高校生を見た地域の方々がどう思うのかを冷静に考えてみてください。

「学校で勉強を頑張っているのだから、マスクを外して会話を楽しむくらいはいいだろう。」と思わないでください。また、「これから部活動を頑張るのだから、移動する時くらいマスクを外してもいいだろう。」とは思わないでください。

大げさではなく、皆さん一人ひとりの感染対策が2学期の学校行事の実施、3年生の就職や進学、各種大会への参加に大きく関係してきます。

そういう危機感を持ちながらも、みんなで充実した2学期にしていきましょう。
以上で、私の講話を終わります。

令和3年8月26日

宮崎県立日南振徳高等学校 校長 山下 勉